

私のしごと館取材

京都・精華で建設が進められていた「私のしごと館」が、10月4日、グランドオープンした。同館のコンセプトは、「若い人たちが早い時期から職業に親しみ、自らの職業生活を設計し、将来にわたって充実した職業生活を過ごすことができるよう、様々な職業に関する体験の機会や情報を提供する」こと。対象者は、中高生や大学生などをメインに、学卒未就職者や早期離職者、フリーターを含めた30歳までの若年者も想定している。中高生の総合学習や修学旅行での活用も目的のひとつで、すでに今年3月30日から試験的にプレオープン。9月末までで来館者は10万人を突破した。

探索・体験・歴史・未来・発見・情報

私のしごと館は、しごと探索ゾーン、しごと体験ゾーン、しごと歴史・未来ゾーン、じぶん発見ゾーン、しごと情報ゾーン、と大きく五つに分かれる。五つのゾーンは、「見る」だけでなく、利用者みずからが、「触れて、体験」し、「考え」、「学ぶ」参加型の施設として設計された。様々な職業についての総合的な情報を得ることができる。一〇月の本格稼働を控え、関西圏内の中学三年生約三〇〇人が、実際に施設を体験している現場を取材した。

すばらしい仕事の世界

しごと探索ゾーンは、「こんなにすごい仕事の世界」をテーマに、くらしを支える様々な技術・技能や、仕事の組織的な連携作業を体験できるスペース。来館者がまず体験するのは、しごとシアターだ。ふだん何気なく接しているモノが、実は多くの人々の働きの連携によって作られている現実を学ぶ。巨大スクリーンには、衣食住三つのテーマに係る九つの仕事映し出される。特色は、客席に設置された選択ボタンで、観客自身が見たい映像を選べること。ちなみに、取材当日、中学三年生の子どもたちが選んだのは、衣食住のなかでは、「食」、そのなかでもケーキ職人に人気集中した。

このゾーンでは、シアター以外に、電車運転シミュレーターも設置されている。実際に走行している車両の一部

を利用し、使用されている音声も、ブローのやり取りを再現した機材だ。すべてが本物志向。体験者は、音声指示に基づき、映像上（バーチャル空間）に構築された近鉄京都線狛田駅 新祝園駅区間の運転を体験できる。電車の運転は、安全第一で、時刻どおりの運行が要求される仕事だが、緻密なダイヤにもかかわらず、走行中に予期せぬ出来事が起こることもしばしば。体験者は電車運転だけでなく、事故が起きた場合に、職場がいかに連携し、復旧していくかも学び取ることができる。

プロの仕事にあなたも挑戦

「私のしごと館」の目玉は、何と言っても、「しごと体験ゾーン」だ。さま



江戸時代の建築現場から職業の歴史を学ぶ

ざまな仕事について、実際に体験しながら理解を深めることができる。二八のコーナーで、先端技術、ものづくり、伝統工芸、建築・建設、医療・福祉、マスコミ、芸術・デザイン、事務、サービス、公共など約四〇職種を経験できる。

例えば、機械工作の仕事では、プレス機械などで、実際に、自分のイニシヤル入りの本立てを作ることができる。「世界で一つしかないブックエンドや」などと、プロの指導官が、体験学生のそばで語りかける。指導官に、学生の仕事ぶりについて聞くと、「みんな、真面目で、いい子」と、笑顔で答えてくれた。

先端技術の仕事では、宇宙開発が取り上げられている。設定は、国際宇宙ステーションの建設により、新たな展開を向かえる宇宙飛行士と地上管制官の仕事だ。地上管制室（同館一階）と実験棟（同館二階）に分かれて、与えられた役割に応じ任務を遂行する。

同館は、先端科学だけでなく、伝統工芸の仕事にも多様な体験ゾーンを用意した。プロの実演をみて、一緒にものづくりができるコーナーだ。工芸品は、京焼きや西陣織、京友禅、京漆器など多様。年配の指導官から、「遠慮せんとやってみよ」と、手伝いで工芸品を作る「ことの楽しさに触れる。その他、体験できる仕事としては、時計や玩具、家具などの組み立て、建築機械オペレーター、栄養士、介護士、新聞記者、声優



「美容師になるためには何年かかりますか」と指導員に尋ねる女生徒

CGデザイナー、美容師、マーケティングリサーチャーなど多種多様だ。

人と仕事が未来を創る

「しごと歴史・未来ゾーン」は、「衣食住」の角度から、くらしを支えてきた人々の働き方がどのように変化してきたかを紹介する、いわば、仕事と働き方に係わる博物館的な空間だ。江戸時代後半から明治・大正時代、高度成長期、そして、二一世紀を迎えるまでの時代区分を設定している。例えば、江戸時代の木造建築現場を等身大の人形で再現。各コーナーでは、解説パネルや大型映像、インタビュ映像をふんだんに活用し、タッチパネルを触ることに理解が進む仕組みだ。「近

未来が求める仕事」コーナーでは、二一世紀の知識社会について、有識者一〇人が語るメッセージを、大型の映像で見ることできる。

始めてみよう、自分探し

「じぶん発見ゾーン」は、一人ひとりが、自分自身の働き方について手掛かりを見つめる場所だ。「職業生活の設計」や「適性」など、自らを再発見するためのキーワードが解説されている。例えば、「職業生活の設計」コーナーでは、一人ひとりがどのような職業生活を送りたいかを、若いうちから考えることの必要性を教える。じぶんの興味や潜在的な能力を踏まえ、将来の職

業生活に必要な知識、技能を身につけること、そして、そのための教育と訓練の機会を選択することの大切さを実感できるように設計されている。

見よう、探そう、仕事の世界

「しごと情報ゾーン」は、職業へのさまざまな興味、関心に答える空間だ。ちょうど、セミナールームでは、中学・高校生を対象とした、職業選択の準備度を測定する「職業レディネステスト」と職業適性診断システム（「キャリアインサイト」）の団体講習が行われていた。そこでの引率の先生（女性）と生徒（女生徒）との会話が印象的。

先生 「ここでな、あなたにぴった

りの仕事が見つかるねん」

生徒 「コンプリー」

自分にぴったりの仕事とは何だろうか。同ゾーンにある「職業適性診断システム」コーナーや、「職業データベース」コーナーは、そのような疑問に、パソコンを操作・検索することで答えてくれる空間だ。必要な職種のビデオをパソコンの画面上で見ることできる。さらに、ガイダンスコーナーでは、進路や職業選択、能力開発、職業適性検査の結果などについて、解説や情報提供も行う。しごと図書館やビデオコーナーもあり、自分にぴったりの仕事を探索できるスペースとなっている。

私のしごと館（10月4日からグランドオープン）

開館時間	: 9:30 ~ 17:00（時期により時間延長）
休館日	: 月曜日、年末年始など。
入館料金	: [個人] 小学生200円 / 中・高生300円 / 大学生500円 / 一般700円 [団体] 小学生150円 / 中・高生250円 / 大学生400円 / 一般550円 <small>一部の職業体験は別途料金。しごと情報ゾーンは無料。</small>
所在地	: 〒619-0282 関西文化学術研究都市（京都府 精華・西木津地区）
電話	: 0774-98-4510
ホームページ	: http://www.shigotokan.ehdo.go.jp/